

### 関西ワーカース・コレクティブ連合会ニュース

「一般社団法人 市民セクター政策機構」・「ワーカース・コレクティブ ネットワーク ジャパン(WNJ)」共催 ●5回連続講座(1・2・3・4・6月)

## 「ワーカース・コレクティブ研修 in 東京」に参加しました

**事業強化講座「企画・資金・人財・運営」** ●生活クラブ連合会 7F会議室 (東京都新宿区)

ワーカース・コレクティブ(W.Co)の事業・組織を効果的に運営していくためのさまざまな手法/スキルを学ぶ、リーダー層対象の研修に、関西W.Co連合会から各回1名ずつ4名が交代で参加。役員全員で内容を共有して課題解決を図ります。

### 第3回 3/17(土) -----

テーマは「人財獲得・育成手法・組織マネジメント」。組織は人によって成り立っている、自分たちの組織を大事にし、今いる人たちも自分自身も満足させる。人財=広く網を張ってその組織の問題点も背負い、ここは素晴らしいと思えるところに共感し、夢についてきてくれる人を獲得。育成=新人の生きる目的に合っているかどうか問い、育成する側は役割分担が必要。導くより先生役をしてもらう。組織=いろいろトライさせ、自分の強みを最も発揮できるところに配置する。

何のためにこれをしているのか問い、自他共に自己開発し成長する。自分の人生と組織の目標が合致した時、夢が達成できる。強みに焦点を当て、欠けている弱みは人に頼る(課題が克服できない時は新しい人を入れる)。

人手が足りないという参加者共通の悩みについては、アピールが大事。やりたがらないことをやってくれる人をいかにゲットし大事にするか、その人なりの何かをしてもらう。広報に団体の良さ(内容・やりがい・雰囲気等)を書く。プロボノ(社会的意義で無給で手伝ってくれるプロ)の力を借りてもよい。外から評価してもらうことで中の改善にもつながる、とのこと。

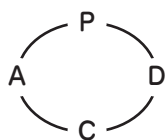
若いリーダーから挙がった「W.Coの理念の継承が重荷」という悩みには、理念は時代の変化に合わせて書き換えていくことも必要。譲れないものもあるが育っていいのではないかな。次々助言があり新鮮な驚きでした。また、「W.Coとは何?」と自分で語ることが大事、W.Coで働くことの楽しさは継承していきたい、という言葉には一同大きくなすきました。

NPO法人 W.Coはんど 村尾 恵美子

講師:「特定非営利活動法人『環境・持続社会』研究センター」(JACSSES)事務局長 足立 次郎さん  
参加者:北海道・神奈川・千葉・埼玉・東京・関西の各連合組織、単体W.Co、WNJの計19名

### 第4回 4/21(土) -----

テーマは「事業計画・組織マネジメント戦略の計画策定」。計画作りとは、P=計画を立てる、D=少しやってみる、C=チェックして修正、A=またやってみる。



・ぐるぐるやってみる・上手くいった部分に焦点を当てる・大きな痛手にならないように・どこで悩んでいるか? 他の人を巻き込んで悩んでいるか?

わかっているようで、できなかったことだと気づきました。

その後、各W.Co、各連合会の発表と質問・アドバイスをいただきました。「W.Co健康診断」という案内ニュースを持参し、より具体的に質問してアドバイスを受けた連合会もありました。

ワーカース交流会をどのようにしているか質問したところ、皆が参加しやすく工夫し、何のためにおこなうかを押さえて、負担が偏らないように考えているとのことでした。関西W.Co連合会も、W.Coメンバーを第一の顧客として、必要な研修や交流会等を企画したり、悩みを相談できる所であろうと皆で再確認し、2018年度は必ず実行しよう決めました。 W.Co あすか 山田 恵子

総会  
ご案内

## 2018年度 関西W.Co連合会 総会を開催します

連合会の加入W.Coのメンバー、賛助団体の皆さまだけでなく、未加入W.Coやその他、W.Coの活動に興味を持ってご覧くださっている、多くの皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

日時 **6月30日(土)10:00~11:30**

場所 **エスコープ大阪 本部 大会議室**

●連絡先 W.Co あすか(山田宛)  
TEL/072-293-4660 FAX/072-341-0022  
メール kansaiwco@gmail.com

ご出席いただける方は、6月22日(金)までにお知らせいただければ幸いです。

## ワーカース共済情報!

### W.Coの働き方にふさわしい労働の保障 「W.Co共済」をひろげましょう!

「ワーカース・コレクティブ共済(株)」の4月度の報告では、「ワーカース・コレクティブ所得保障共済」の申請承認件数は35件、給付金額は1,716,880円です。

関西W.Co連合会の4月度給付は1件ありました。

●インフルエンザのため休業(W.Coはんど)

→病欠休業保障 6日 共済金 約11,000円

「ワーカース・コレクティブ所得保障共済」は、病気や就業外でケガをして、5日以上の休業をした場合、病院発行の領収書があれば保障対象となります。しかも1日目からの給付! 自分の働き方に合った保障に加入することで、安心してワークもがんばれますね。

\*関西W.Co連合会のワーカース共済加入は8ワーカース57名です。(2018年4月現在)

ワーカース・コレクティブとは、地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資し、経営し、労働をも担う働き方をいいます。

# 第2回 生活クラブ福祉・たすけあい研究交流集会

3月26日(月)・ホテルラングウッド(東京都荒川区) 関西 W.Co 連合会から1名参加

急速に少子高齢化が進むわが国において、生活クラブでは、ゆたかな人間関係に支えられた、希望のもてる、持続可能な地域づくりをめざして「生活クラブ福祉・たすけあい8原則(多様性、尊厳の尊重、参加型社会、働きがいのある人間らしい仕事、居場所づくり・役割づくり、子育て支援、介護支援、社会的孤立への支援)」を定めました。これに基づき、各地の生活クラブの理事、提携生産者、福祉にかかわる方、WNJのメンバーが参加し、第2回生活クラブ福祉たすけあい研究交流集会が開催されました。

基調講演では、「studio-L」代表の山崎亮氏が鳥取県智頭町(人口7154人、高齢化率38.9%)での町おこしの総合計画で、ヒアリングやワークショップ、チームビルディングとい

う手法などを使って住民に働きかけ、一人ひとりの人生に寄り添える街を目指した地域の担い手作りをしたお話をされました。「地域というのは、そこに住んでいる人、一人ひとりの人生・行動が積み重なってできている。住んでいる人々の意識に働きかけ、互いの関係を作り、主体となって参加できることで地域は変わる。道路が、橋が整備されただけでは、良い地域とは言えない」「人が良い・楽しいと感じ参加していくことで、結果的に地域の福祉が良くなる」という言葉が印象に残りました。W.Coの自らが主体となって働き、地域に関わっていこうとする姿勢をあらためて見つめ直す機会となりました。

W.Coキッチンよりあい 辻久美子

## はんだの交流カフェ「Handカフェ」 北海道からの見学を受け入れました

2017年10月に北海道で開催された「第13回ワーカース・コレクティブ全国会議 in 北海道」の第5分科会「食を通じた地域連携」で「W・C・Oはんだ」がおこなったプレゼン「カフェからのときめき、そして、見えてきたこと」の参加者から、「Handカフェについてもっと聞いてみたい」と見学の打診があり、「生活クラブ北海道」の理事・職員や「北海道W・C・O連絡協議会」のメンバー、総勢10名が訪問されました。

カフェ到着までには、はんだのデイサービス施設「よりあい金剛」を見学。地域との交流や食事づくりW・C・O「キッチンよりあい」の実務的な関係などの質問が出されました。その後、「NPO法人福祉ワーカーズほーぷ」を見学。翌日は子育て支援などをおこなう「NPO法人ふらっとスペース金剛」の見学を予定されていました。

カフェには予定より遅れての到着でしたが、日が暮れる前のテラスで、カフェに隣接している社会福祉法人「桃花塾」の説明を開始。仕事を終えて着替え室に引き上げられる桃花塾の皆さんとの日常の交流風景にも接していただくことができました。

エスコープ大阪の生協活動を通して「福祉」に向き合ってきた経緯とはんだの事業展開について伝えました。「この指集まれ!」とはんだを設立した1997年から20年の経過の中で、はんだ会員の減少や将来ビジョン構想への混迷から抜け出そうと、2013年にNPO法人人格を取得し、自前の事業として2014年5月から開始した交流カフェ。地域の中で、「食の協同」の可能性に取り組み出した矢先、エスコープ大阪から福祉事業の移管に向けた提案があり2年間の協議を経て2016年8月、一気に10倍規模の事業を抱える法人となりました。W・

4月17日(火)  
「Handカフェ・梅の里」  
(富田林市)

C・Oとしてさらに事業を展開するはずが、介護保険制度改定に伴う事業高マイナスに加えてカフェ事業の経費改善など、次々と訪れる課題のアレコレに追われることになり、総会では不採算部門への厳しいご意見の数々も受けました。それでもあきらめることなく、参加型地域福祉の実践と事業改善へのチャレンジに取り組むのはなぜなのか。見学に来られた皆さんの質問に答えるスタッフたちの自信に満ちた一言一句。北海道からの訪問が、さらにやる気を増してくれたことに大感謝です。

最後に、尊敬する元泉北生協理事長の山村瑞子さんの詩集から「せいかつきょうどうくみあい」を朗読。生活協同組合の理解と実感なくして、W・C・Oによる運動と事業の拡がりはありません。あり得ないと思うからです。

NPO法人W・C・Oはんだ  
山口節子



キトリ

●今後も関西 W.Co 連合会や W.Co ネットワークジャパン(WNJ)の情報をお送りしたいので、下欄に記入の上、FAX もしくはメールでご連絡ください

【宛先】 FAX : 072-341-0022 メール : kansaiwco@gmail.com

ワーカーズ名 :

業種 :

電話 :

メールアドレス :

関西ワーカーズ・コレクティブ連合会



### 多難だった新年度始め

暖かくなり、ようやく春になったと思えば、もう5月。昨年度末から職員コースの受け入れと、新年度からの事業拡大が重なり、てんやわんやの日々が続ききました。新コースの地図の作成やらコース編成にあれこれ悩み、「やってみないとわからんし…」と聞き直ったりもして。

配達先の組合員には前もって配達時間変更のお知らせはしていたものの、新体制が始まった1週目は配達時間が大幅に遅れ「まだ配達にきていない。何時になるの?」と電話殺到。対応にスタッフは右往左往。大変でした。組合員の方々にもご迷惑をおかけしてしまいました。

そんなこんなでバタバタでしたが、今は組合員のご理解をいただき配達も落ち着きました。何年後には、笑い話になればいいなと思います。

こんな新年度の始まりでしたが、気分も新たに2018年度もスタッフ全員でがんばります!!

W.Co かぐや姫 泰中 智美